

名古屋市観光客・宿泊客動向調査 -概要版-

(平成24年度)

平成25年10月

名古屋市市民経済局

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成24年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

（1）観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成24年度については、全国観光統計基準に適合する86地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成24年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約5,451万人であり、平成23年度と比較して約36万人減少（対前年度比率99.3%）した。

平成23年3月にプラネタリウムをリニューアルした「名古屋市科学館」、新規開館した「リニア・鉄道館」の入込客が落ちてきたことなどが主な減少の要因と思われる。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,251,645	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478
	産業観光	(5) 1,499,021	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,992,827	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,929,956	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300
	イベント	(23) 11,931,312	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527
計		(84) 54,604,761	(85) 53,655,002	(84) 54,870,760	(86) 54,514,030

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を算出した。平成 24 年度の観光入込客実人数は 3,494 万人であり、昨年度に比べ 168 万人増加した。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、宿泊客調査と観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,604,761	53,655,002	54,870,760	54,514,030
平均訪問観光地点数	1.66	1.52	1.65	1.56
観光入込客実人数（万人）	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人
宿泊客実人数（万人）	460 万人	461 万人	519 万人	580 万人
日帰り客実人数（万人）	2,829 万人	3,069 万人	2,807 万人	2,914 万人

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	3,494 万人	32.9%	67.1%	1,150 万人	2,344 万人
宿泊客	580 万人	8.2%	91.8%	48 万人	532 万人
日帰り客	2,914 万人			1,102 万人	1,812 万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。平成 24 年度の名古屋市内の観光総消費額は、2,895 億円であり、昨年度に比べ 489 億円増加した。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		平成 23 年度	平成 24 年度
宿泊客一人あたり消費額		16,870 円	25,946 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	3,875 円	2,830 円
	名古屋市外	6,582 円	5,959 円
宿泊客総消費額		876 億円	1,504 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	456 億円	312 億円
	名古屋市外	1,074 億円	1,079 億円
名古屋市内観光総消費額		2,406 億円	2,895 億円

■ 観光消費額の内訳の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度
食事費消費額	868 億円	836 億円
交通費消費額	376 億円	378 億円
土産費消費額	592 億円	518 億円
宿泊費消費額	526 億円	469 億円
入場料消費額	-	330 億円
その他消費額	44 億円	364 億円
総消費額	2,406 億円	2,895 億円

■ 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内	名古屋市外
食事費	7,442 円	1,072 円	1,581 円
交通費	2,246 円	397 円	1,124 円
土産費	4,730 円	329 円	1,148 円
宿泊費	8,081 円		
入場料	1,301 円	427 円	1,150 円
その他	2,146 円	605 円	956 円
合 計	25,946 円	2,830 円	5,959 円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		合 計	平成 23 年度
		名古屋市内	名古屋市外		
食事費消費額	432 億円	118 億円	286 億円	836 億円	868 億円
交通費消費額	130 億円	44 億円	204 億円	378 億円	376 億円
土産費消費額	274 億円	36 億円	208 億円	518 億円	592 億円
宿泊費消費額	469 億円			469 億円	526 億円
入場料消費額	75 億円	47 億円	208 億円	330 億円	—
その他消費額	124 億円	67 億円	173 億円	364 億円	44 億円
観光総消費額	1,504 億円	312 億円	1,079 億円	2,895 億円	2,406 億円

(2) 観光客・宿泊客の実態

観光地点入込客

名古屋城はじめ 4 観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計 6 回、及び名古屋まつり開催時、ポートメッセなごやにおいてイベント開催時に 2 回、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 3,720 サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	名古屋港水族館	名古屋まつり	イベント会場	合 計
サンプル数	623	626	619	624	618	610	3,720

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海」地域以外からの入込客の割合が多くなっている。一方「名古屋まつり」においては「名古屋市内」の割合が多くなっている。また、「名古屋まつり」や「ノリタケの森」においては高齢層の割合が多く、「名古屋港水族館」や「イベント会場」においては若年層の割合が多くなっている。

■ 入込客の居住地構成

（単位：％）

東海	名古屋市内	名古屋市を除く 愛知県（名古屋 市を除く）	静岡県 岐阜・三重・	関東	近畿	北陸	甲信越	その他	合 計
69.0	32.9	23.0	13.1	10.8	10.2	1.8	2.4	5.8	100.0

【観光入込客の遊覧状況】

一人あたりの訪問施設数は 1.56 施設である。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

訪問施設 観光地点	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	名古屋港水族館	徳川美術館	徳川園	テレビ塔	スクエア等 ミッドランド	産業技術記念館	名古屋港	リニア・鉄道館	東山動植物園	その他	平均訪問施設数
名古屋城		12.7	3.5	2.7	6.4	3.5	6.4	3.4	2.1	0.8	1.8	1.9	14.4	1.60
熱田神宮	19.3		3.2	1.6	2.9	2.6	4.5	3.8	2.4	0.5	2.7	0.5	33.7	1.78
ノリタケの森	23.7	7.6		1.9	10.5	8.6	3.2	6.8	7.8	0.8	1.5	2.3	20.4	1.95
名古屋港水族館	5.3	1.1	0.8		0.5	0.5	1.0	1.4	0.6	8.2	3.7	2.6	14.6	1.40
名古屋まつり	18.4	0.8	0.8	0.3	0.8	3.2	2.8	0.0	0.0	0.3	0.3	2.9	25.4	1.56
イベント会場	1.0	0.2	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.3	0.0	3.8	1.08

(複数回答)

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 1,154 円、土産代 1,793 円、食事代 2,581 円、入場料 965 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 8,081 円となっている。

■ 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	食事代	宿泊代	入場料	その他費用
平均額(円)	1,154	1,793	2,581	8,081	965	1,072

【名古屋の印象・旅行の満足度】

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が 48.2%と最も多く、「大変満足」が 30.3%で合わせた 78.5%が満足と評価している。「普通」が 20.9%であり、「やや不満」、「不満」は僅かである。

■ 入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

(単位：%)

印象・満足度 観光地点	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
名古屋城	35.2	49.2	15.4	0.2	0.0
熱田神宮	32.3	49.3	17.4	1.0	0.0
ノリタケの森	15.4	58.0	26.6	0.0	0.0
名古屋港水族館	43.8	41.3	13.5	0.5	0.9
名古屋まつり	18.8	57.7	22.9	0.6	0.0
イベント会場	30.8	39.6	29.2	0.2	0.2
合 計	30.3	48.2	20.9	0.4	0.2

宿泊客

市内の20の宿泊施設の協力を得て、秋・春の計2回（各調査期間約1か月間）宿泊客に対し、アンケート調査を実施した（秋期：341、春期：268、合計609サンプル）。

【宿泊客の属性】

「名古屋市」が8.2%、「愛知県（名古屋市を除く）」が11.3%、「岐阜県、三重県、静岡県」が20.7%であり、合わせて「東海」地域が40.2%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が24.9%と多く、「近畿」地域は10.6%、「北陸」地域は4.7%、「甲信越」地域は3.4%、その他の地域が16.2%である。

【旅行・訪問の目的】

「観光施設の見学」をはじめ「観劇・コンサート」、「ショッピング」、「イベント」、「飲食」などの「観光・娯楽」の割合が合わせて57.9%と過半数を占め、「商用・公用」が11.5%、「帰省・冠婚葬祭」が10.5%、「大会・会議に参加」が7.9%となっている。

【宿泊客の訪問観光施設】

観光施設等を訪問すると回答した宿泊客は、全体の78.3%であり、訪問施設としては、全体では「名古屋城」が35.4%と最も多く、次いで「熱田神宮」が17.4%である。以下、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」、「名古屋港水族館」、「テレビ塔」、「名古屋科学館」と続いており、宿泊客1人あたりの平均訪問施設数は1.68施設である。

■ 宿泊客の主な訪問観光施設

（単位：％）

訪問施設 地域	名古屋城	熱田神宮	ミッドランドスクエア等	名古屋港水族館	テレビ塔	名古屋科学館	リニア・鉄道館	徳川園	徳川美術館	ノリタケの森	名古屋港	東山動植物園	その他	訪問施設なし	平均訪問施設数
東海	26.8	15.3	18.4	8.9	10.0	7.9	6.3	6.8	5.8	4.2	6.3	3.7	38.9	3.2	1.59
東海以外	40.8	18.7	6.7	12.4	8.0	8.4	9.0	7.7	6.4	5.0	3.0	3.3	44.5	2.3	1.74
全体	35.4	17.4	11.3	11.0	8.8	8.2	8.0	7.4	6.1	4.7	4.3	3.5	42.3	2.7	1.68

（複数回答）

【観光資源について】

名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源は、「なごやめし」と「歴史的な施設」が多く、不満を感じた観光資源は特になく、次回の訪問意向としては「歴史的な施設」の割合が最も高く、「レジャー施設」など観光施設が上位である。

■ 名古屋の主要観光資源について

（単位：％）

	歴史的な施設	産業観光	レジャー施設	ショッピングなど	なごやめし	お祭りイベント	コンサートなど	スポーツ観戦	その他	特になし
満足した	29.7	6.6	14.0	20.8	38.8	3.0	14.0	3.6	3.2	16.1
不満を感じた	2.6	1.9	1.4	6.1	3.5	0.7	0.2	0.0	3.5	82.6
次回訪問意向	27.5	15.2	23.0	16.1	16.3	12.5	8.5	9.2	1.6	23.0

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握した。市内の総宿泊者数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

【宿泊施設数】

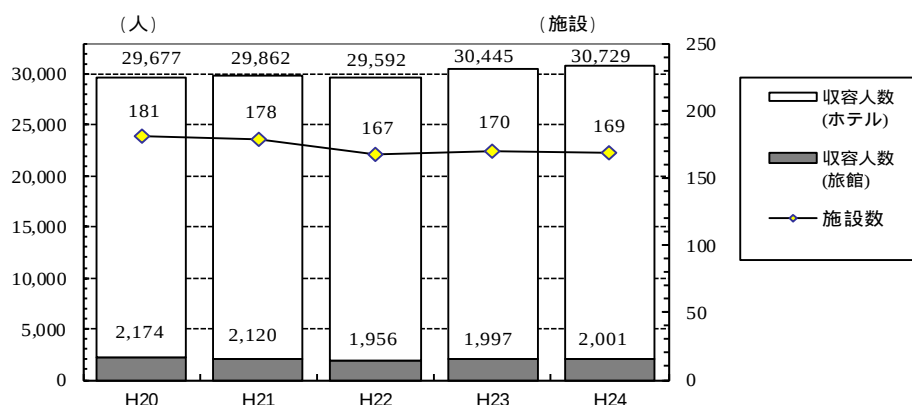
施設数では、登録ホテルが16施設、登録ホテルを除くホテルは112施設、旅館は41施設となっている。また、室数の合計は21,626室、収容人数の合計は30,729人で、昨年度調査時点より合計施設数では1施設、部屋数では24室の減少、収容人数では284人の増加となった。

【年間宿泊者数】

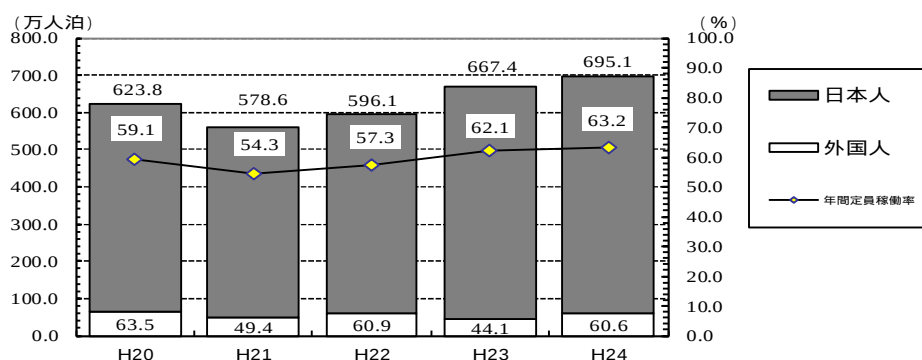
平成24年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約695万人泊であった。

また、全施設の年間総実人数は約580万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約1.2日と推計される。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
推計総実人数 (人)		4,719,502	4,604,248	4,608,978	5,192,149	5,796,736
	うち外国人	377,532	344,847	396,508	271,884	482,571
推計総延べ宿泊者数 (人泊)		6,238,020	5,786,316	5,960,567	6,674,019	6,950,791
	うち外国人	634,900	494,002	609,400	441,255	606,148
年間定員稼働率 (%)		59.1	54.3	57.3	62.1	63.2

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率 = 年間延べ宿泊者数 ÷ 年間収容可能人数

【国別外国人宿泊者数】

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 108 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 92 施設であり、その割合は 85.2%であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 26.3%（78,246 人）と最も多い。

登録ホテルでは米国が 28.0%(45,332 人)と最も多く、次いで台湾 17.6%(28,516 人)、タイ 14.4%（23,266 人）の順となっている。

■ 国別外国人宿泊者数

	登録ホテル (人)	ホ テ ル (人)	旅 館 (人)	全 体		平成23年度
				人数(人)	割合(%)	割合(%)
回答数(施設)	14	76	18	108		
台湾	28,516	49,703	27	78,246	26.3	33.7
米国	45,332	9,090	50	54,472	18.3	9.5
中国	18,328	25,639	84	44,051	14.8	19.5
タイ	23,266	11,362	5	34,633	11.6	11.1
韓国	13,526	17,816	107	31,449	10.6	9.1
香港	11,379	12,657	6	24,042	8.1	6.4
シンガポール	4,153	1,611	5	5,769	1.9	1.0
ドイツ	4,647	961	0	5,608	1.9	1.6
オーストラリア	2,964	1,493	6	4,463	1.5	0.9
英国	2,457	1,349	0	3,806	1.3	1.3
インドネシア	2,244	819	2	3,065	1.0	1.8
フランス	1,766	1,117	2	2,885	1.0	1.0
カナダ	1,547	1,054	4	2,605	0.9	0.7
その他	1,630	1,238	31	2,899	0.8	2.4
合 計	161,755	135,909	329	297,993	100.0	100.0

【修学旅行について】

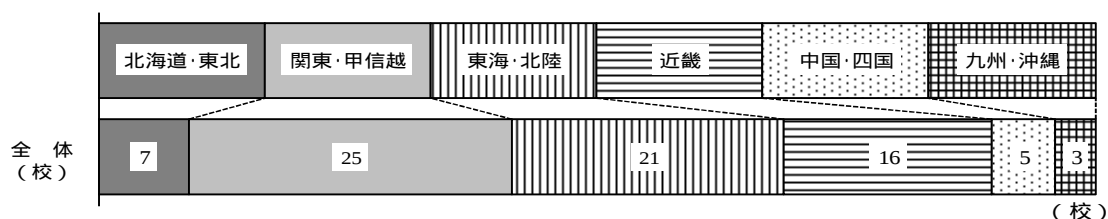
修学旅行団体の受入実績について回答が得られた宿泊施設は 14 施設で、学校数は 77 校、宿泊者数は 4,602 人である。昨年度に比べ学校数は 18 校、宿泊者数は 2,043 人と減少している。

学校分類別では、小学校（30 校減、1,929 人減）が大幅に減少している。

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
学校数(校)	60	40	39	95	77
宿泊者数(人)	4,432	2,697	2,969	6,645	4,602

■ 地域別修学旅行団体受入状況



(4) 全国からみた名古屋の観光

名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、インターネットを用いて平成25年2月にアンケートを実施した(1,039サンプル)。

【過去5年間の訪問状況】

過去5年間の名古屋への訪問経験率は38.6%であり、その目的は、「観光施設の見学」、「友人・親戚への訪問」、「ショッピング」、「仕事」が多い。

観光等が目的で訪れた方の直近の訪問では、日程は「宿泊」が6割程度であり、きっかけは「以前から訪れたいと思っていた」、「興味のある催事が開催されていた」が多い。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源のうち、マスコミにもよくとりあげられている「なごやめし」が認知度、訪問・経験割合、訪問・経験意向すべてトップであり、次いで「史跡や遺産」が多くなっている。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位: %)

	史跡や遺産	熱田神宮	東山動植物園	リニア館など	科学館など	名古屋港	栄	大須	なごやめし	一つもなし
認知度	66.4	54.5	45.5	22.0	20.1	29.5	42.1	21.4	72.9	7.7
5年間の訪問・経験	40.9	30.9	19.0	13.0	12.7	22.9	38.4	22.7	54.4	15.2
訪問・経験意向	56.3	34.9	27.5	25.3	25.7	27.0	24.2	17.7	62.5	2.5

【名古屋に対する評価】

名古屋を訪れた方の満足度は下記のようになっており、満足度が最も高いのは「なごやめしなどの食事」に対してで、次いで「観光施設」に対してであった。総合的な魅力の評価は「満足」が64.5%、「不満」が5.2%と訪問者は名古屋への観光に対して良好な評価をしている。

一方、名古屋の観光地としての弱みは、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄である」としている。

■ 名古屋の観光に対する評価

(単位: %)

	観光施設	係員などの親切さ	市民の親切さ、親近感	おみやげ品	なごやめしなどの食事	案内表示等	総合的な魅力
満足 計	67.6	52.6	42.1	53.6	74.0	47.8	64.5
不満 計	4.6	6.5	8.2	10.3	5.8	10.7	5.2

【観光振興について】

平成19年7月から主要観光施設等を周遊する観光ルートバス「メーグル」の認知度は未だ9.1%と1割未満であるが、利用意向は59.5%となっている。

平成21年11月に結成した「名古屋おもてなし武将隊」の認知度は33.0%となっている。

名古屋城「本丸御殿」の復元の認知度は30.5%で、復元された場合は大半(87.1%)が訪れたいとしている。

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
名古屋城	1,246,279	1,352,344	1,517,727	1,414,769	1,472,305
東山動植物園	2,201,822	2,284,853	2,180,296	2,025,336	2,079,896
東山スカイタワー	298,801	305,625	299,008	273,541	277,652
テレビ塔	285,681	277,343	270,565	201,868	251,384
熱田神宮	6,417,500	6,652,665	6,713,174	6,716,036	6,773,935
名古屋港	586,788	526,306	464,479	462,104	416,175
名古屋市科学館	607,864	606,157	481,957	1,531,854	1,303,372
徳川美術館	239,506	218,048	210,408	204,215	193,047
名古屋市博物館	448,153	483,413	513,426	400,384	410,718
東谷山フルーツパーク	570,675	560,584	512,211	513,454	538,245
農業文化園・戸田川緑地	938,998	1,057,523	995,286	1,116,600	1,281,235
でんきの科学館	360,082	349,124	412,420	336,167	301,239
名古屋市美術館	474,264	380,365	463,085	309,872	315,204
名古屋港水族館	1,907,127	1,725,373	1,766,343	1,785,853	1,990,050
産業技術記念館	270,121	226,226	273,926	249,740	284,919
白鳥庭園	93,289	104,610	119,487	113,872	117,761
市政資料館	73,362	73,312	72,313	67,622	69,570
名古屋能楽堂	194,109	187,096	183,889	166,925	171,951
愛知県美術館	682,896	868,544	732,339	711,001	795,538
名古屋市農業センター	630,033	620,193	573,718	609,918	629,486
シートレインランド	690,717	638,597	623,193	604,748	619,387
有松・鳴海絞会館	213,812	177,211	177,631	159,824	170,035
ランの館	144,427	136,039	142,530	129,967	134,638
名古屋ボストン美術館	238,153	400,667	110,126	101,878	319,008
ノリタケの森	398,606	367,569	337,468	341,939	356,529
ブルーボネット	74,364	74,261	73,587	65,831	70,780
徳川園	256,921	258,143	242,024	251,721	248,542
文化のみち二葉館	33,716	40,325	38,056	32,191	34,749
イタリア村	66,500	-	-	-	-
スカイプロムナード	240,000	165,000	124,553	107,124	103,014
リニア・鉄道館	-	-	98,961	1,057,424	679,272
合 計	20,884,566	21,117,516	20,724,186	22,063,778	22,409,636

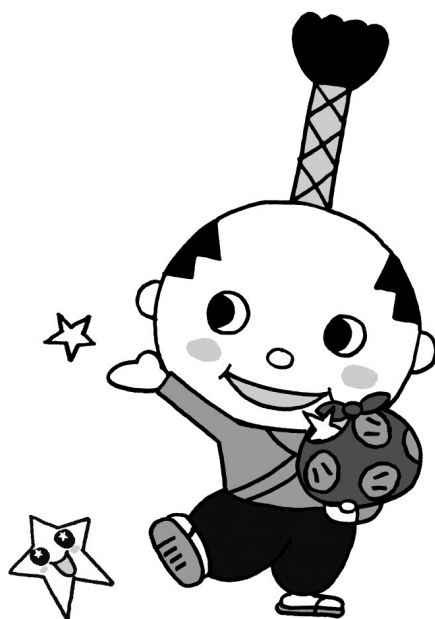
* 1：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

* 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。イタリア村は平成 20 年 5 月に閉館した。

注1：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

本書(概要版)および本編については、名古屋市ホームページ(www.city.nagoya.jp)に掲載しております。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査

- 概要版 -

(平成24年度)

平成25年10月発行

発 行 名 古 屋 市 市 民 経 済 局
業務委託先 株 式 会 社 M S S

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

